

要 請 書

平成17年11月18日

厚木基地騒音対策協議会

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による 航空機騒音の解消等に関する要請

厚木基地周辺住民は、航空機騒音により、長年にわたり堪え難い苦悩を強いられており、神奈川県及び基地周辺市は、かねてより、このような航空機騒音問題の抜本的解決を求めてまいりました。

平成17年10月29日に日米両国政府が合意した在日米軍再編の中間報告においては、一部の空母艦載機の移駐案が示され、厚木基地の地元負担軽減の方向性が示されました。

しかし、それが実現し、基地周辺の住民の「静かな空」という切なる願いが実現されるまでには、多くの解決しなければならない課題があると思われま

す。今後も、基地周辺の住民は、NLP^(注1)直前の集中的訓練をはじめとする昼夜を問わない激しい騒音や、部品落下、不時着などの事故への不安にさらされ続けなくてはなりません。

については、厚木基地騒音対策協議会では、厚木基地の騒音被害の解消を図るため、国の責任において早期に抜本的解決を講じられるとともに、特に次のことを早急実現するよう要請いたします。

また、文書にてご回答くださいますよう併せてお願いいたします。

1 NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練の硫黄島の活用等

貴職におかれては、厚木基地周辺住民の深刻な騒音被害の状況を深く認識され、NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練における硫黄島の活用などについて、積極的に米側と調整するよう、強く要請します。

その実現に向けて、

- (1) 本協議会が提案している、いわゆる「直結方式」^(注2)や硫黄島での予備日の設定など、必要な措置についての多角的な検討を行うこと
- (2) 支援態勢、施設の一層の拡充、整備を推進することを提案いたします。

2 NLP直前の集中的訓練に関する事前情報提供

住民の苦痛を少しでも軽減・緩和するため、NLP直前の集中的訓練についても、貴職の責任において、NLP同様の的確な事前情報の提供を行うとともに、住民への十分な説明を行うよう要請します。

注1：NLP … Night Landing Practice の略

注2：直結方式… 空母艦載機の帰還と着艦を、空母と硫黄島の間で直接行うとともに、NLPと通常訓練をすべて硫黄島で行う方式

殿

厚木基地騒音対策協議会

会長 松沢 成文

平成17年11月18日

厚木基地騒音対策協議会

会員

神奈川県知事	松沢 成文 (会長)
横浜市長	中田 宏
藤沢市長	山本 捷雄
相模原市長	小川 勇夫
大和市長	土屋 侯保
海老名市長	内野 優
座間市長	星野 勝司
綾瀬市長	笠間城治郎
神奈川県議会議員	牧島 功
神奈川県議会議員	安藤 博夫
神奈川県議会議員	江田 実
神奈川県議会議員	笠間 茂治
神奈川県議会議員	益田はやお
横浜市議会議員	伊波洋之助
藤沢市議会議員	国松 誠
相模原市議会議員	今井 満
大和市議会議員	古木 勝治
海老名市議会議員	鈴木 守
座間市議会議員	木村 正博
綾瀬市議会議員	近藤 秀二

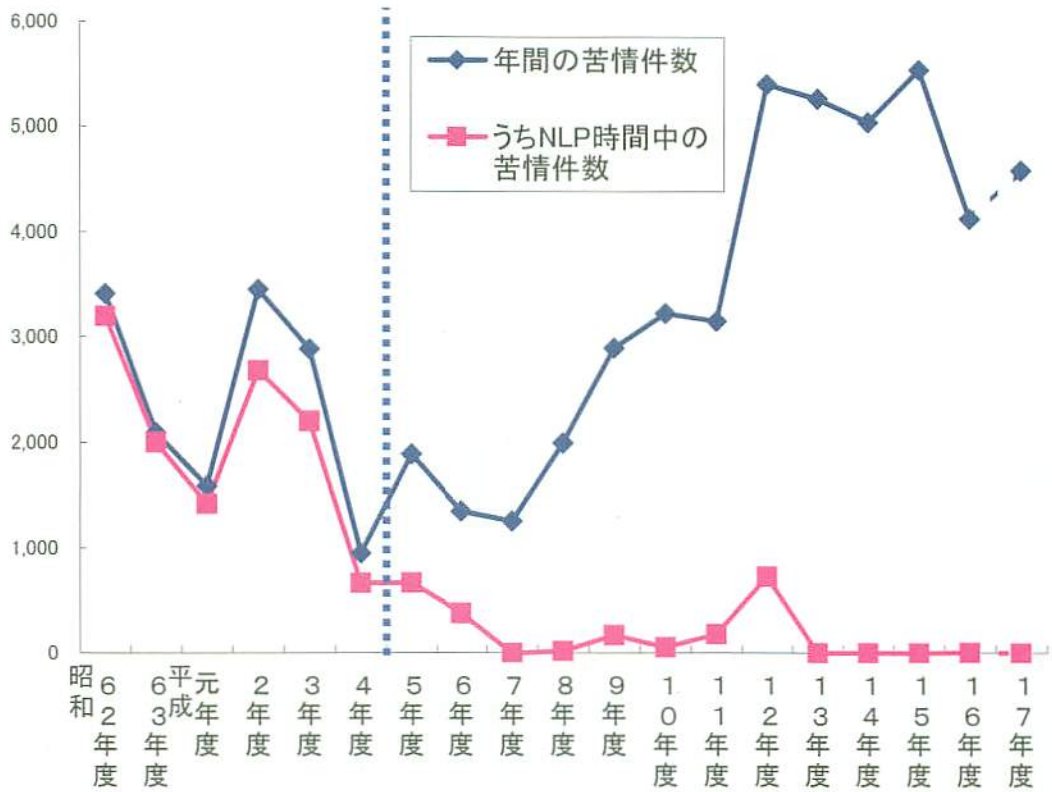
顧問

衆議院議員	桜井 郁三
衆議院議員	甘利 明
衆議院議員	あかま二郎
衆議院議員	河野 太郎
衆議院議員	亀井 善之
参議院議員	小林 温
参議院議員	松 あきら
参議院議員	小泉 昭男
参議院議員	浅尾慶一郎
参議院議員	千葉 景子
参議院議員	川口 順子
オブザーバー	
町田市長	寺田 和雄

厚木基地問題に関する最近の状況

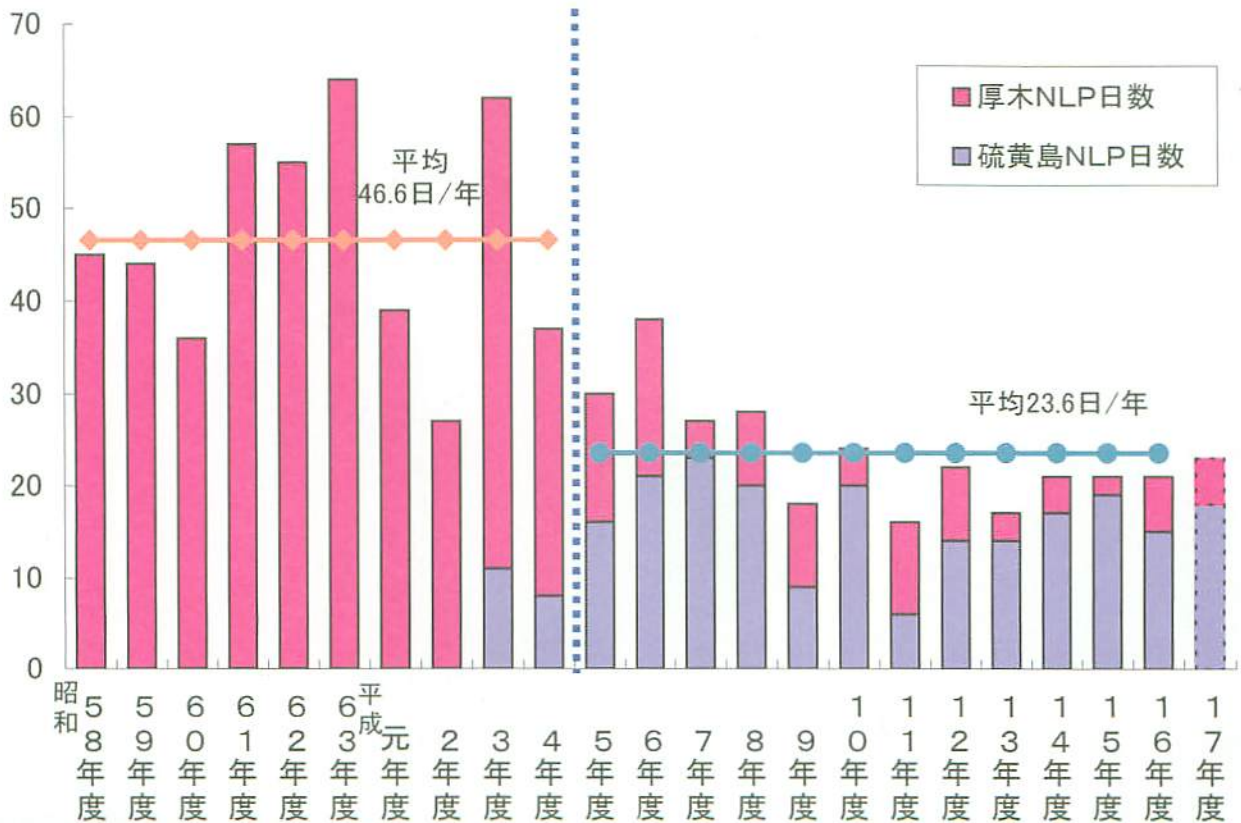
平成 14 年 2 月	日米両政府間で、できる限り多くのNLPを硫黄島において実施することが了解された。
14 年 3 月	厚木基地でNLPが実施された。
14 年 5 月	デモンストレーションフライトが廃止された。
14 年 10 月	厚木基地でNLPが実施された。
”	厚木第三次騒音訴訟において、横浜地方裁判所によりWECPNL75以上の騒音は受忍限度を超え違法であるとの判決が出された。(現在控訴審係属中)
15 年 1 月	厚木基地でNLPが実施された。
15 年 1～ 2 月	瀬戸内海最大の無人島にNLP訓練施設を含む防衛施設の誘致の動きがあったが、白紙撤回となった。
15 年 10 月	厚木基地でNLPを実施するとの通告があったが、初めて硫黄島での日程を延長してNLPを実施し、厚木基地では実施されなかった。
15 年 11～12 月	FA18Fスーパーホーネット戦闘攻撃機13機が、F14トムキャットに代えて、配備された。
16 年 2 月	厚木基地でNLPが実施された。
16 年 6 月	米軍再編に関連し厚木基地のNLP機能の移転問題が報道された。その後も、たびたび報道がなされ、複数の自治体や議会が反対決議等を行っている。
16 年 7 月	厚木基地でNLPが実施された。 第五空母航空団所属のヘリから銃弾200発が落下した。
16 年 8 月	沖縄県で米軍ヘリ墜落事故が発生した。
16 年 10 月	FA18Eスーパーホーネット戦闘攻撃機13機がFA18Cホーネットに代えて、追加配備された。 沖縄県で米軍戦闘機の接触事故が発生した。
16 年 11 月	S3Bバイキング対潜哨戒機が離日した。
16 年 12 月	FA18Cホーネットから部品の一部が脱落し、藤沢市内の工場の屋根に穴を開けた。
17 年 1 月	厚木基地でNLPが実施された。 NLP通告時間中に高騒音機が連続して離着陸した。 NLP終了数日後に空母艦載機が深夜に飛行した。
17 年 2 月	伊勢原市内の成城学園のグラウンドにキャンプ座間所属のヘリが不時着した。
17 年 4 月	飛行を終えて厚木基地に戻った第五空母航空団所属の艦載機2機から部品が紛失しているのがわかった。
17 年 5 月	厚木基地でNLPが実施された。 NLP通告時間中に高騒音機がタッチアンドゴーを行った。 NLP終了数日後に空母艦載機が深夜に飛行した。
17 年 7 月	藤沢市片瀬海岸に厚木基地所属のヘリが不時着した。
17 年 10 月	厚木基地でNLPが実施された。

(グラフー1) 年度別苦情件数及びNLP時間中の苦情件数



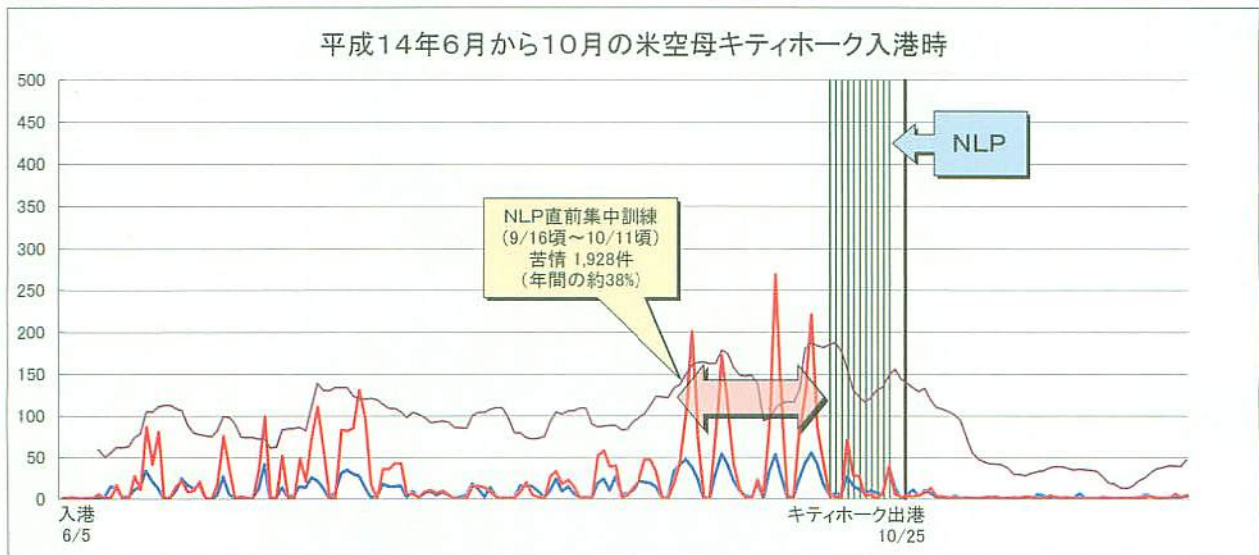
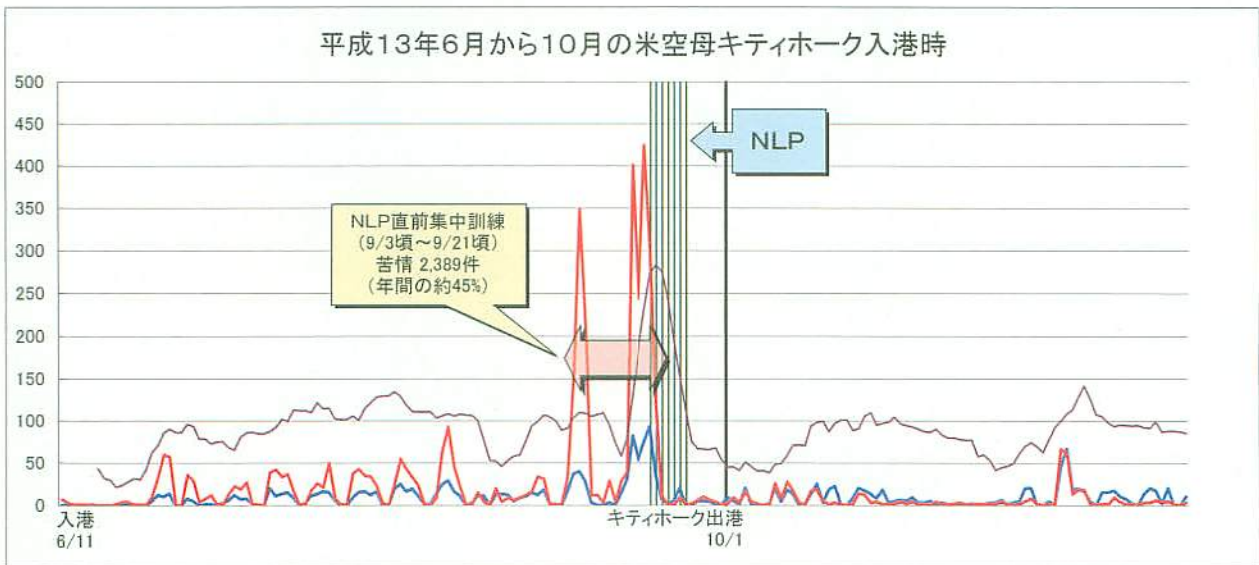
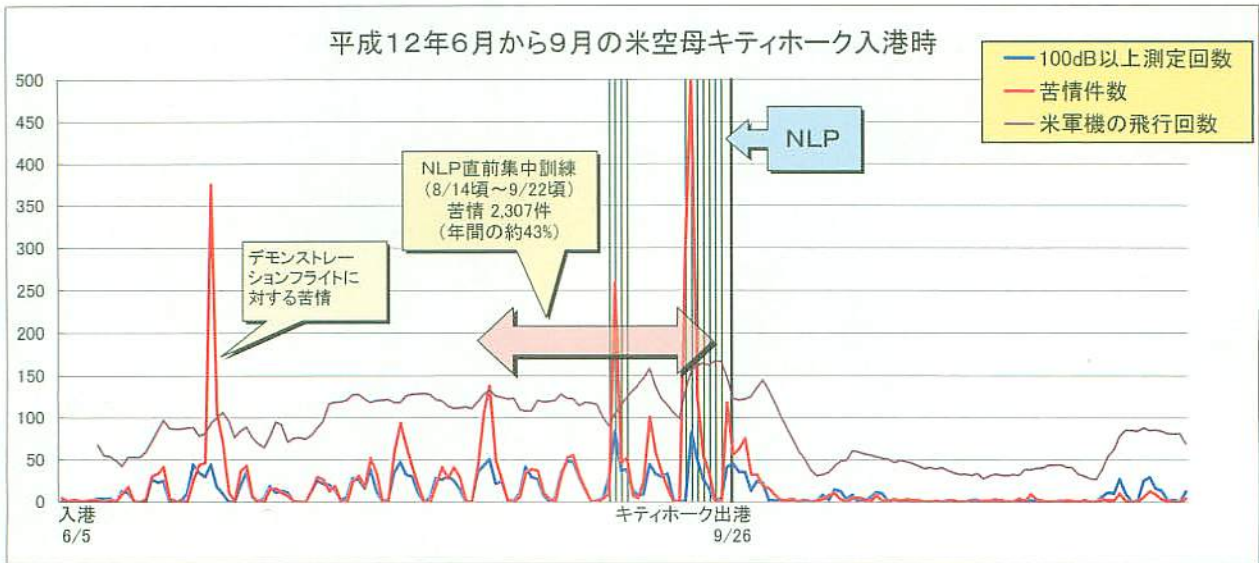
※ 17年度は10月末現在の件数

(グラフー2) 厚木基地及び硫黄島におけるNLP実施日数の推移



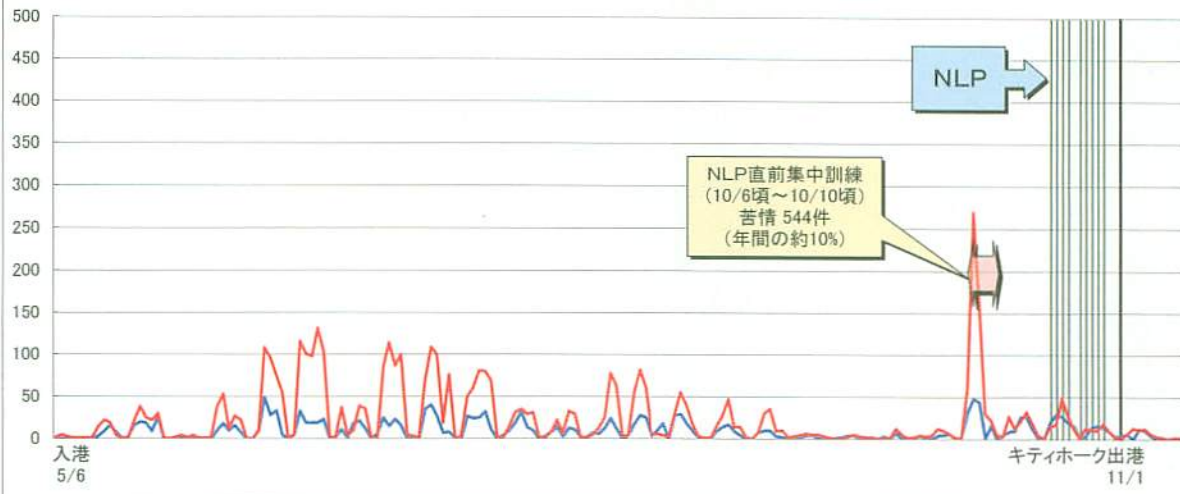
※ 17年度は10月末現在の日数

(グラフー3) NLP直前の集中的な訓練の状況

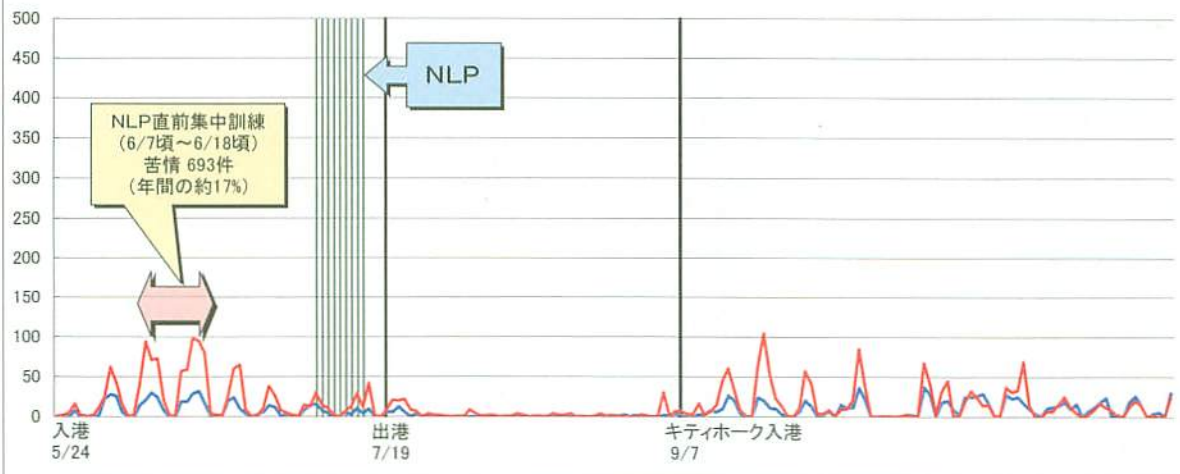


- * NLP直前の集中的訓練の時期は、苦情件数が100件を超えた日を含む週の初日(月曜)から最終日(金曜)までとした。
- * 米軍機の飛行回数は、グラフを見やすくするための7日間の移動平均を表示した。(飛行回数の情報提供は平成15年6月分まで)
- * 騒音測定回数は、滑走路北端から1km地点にある自動記録騒音計(県設置)が100dB以上を測定した日毎の回数。

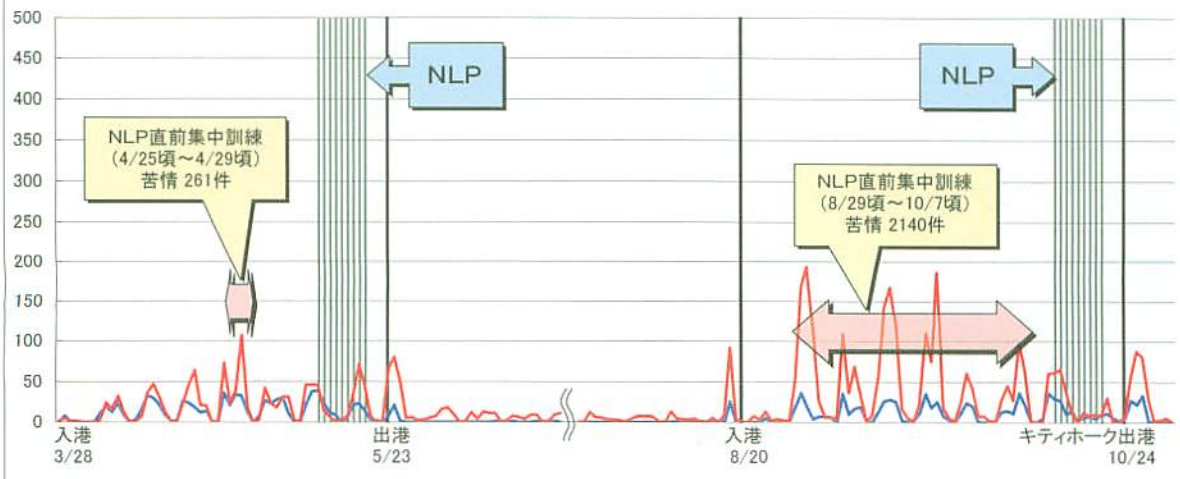
平成15年5月から11月の米空母キティホーク入港時



平成16年5月から7月の米空母キティホーク入港時



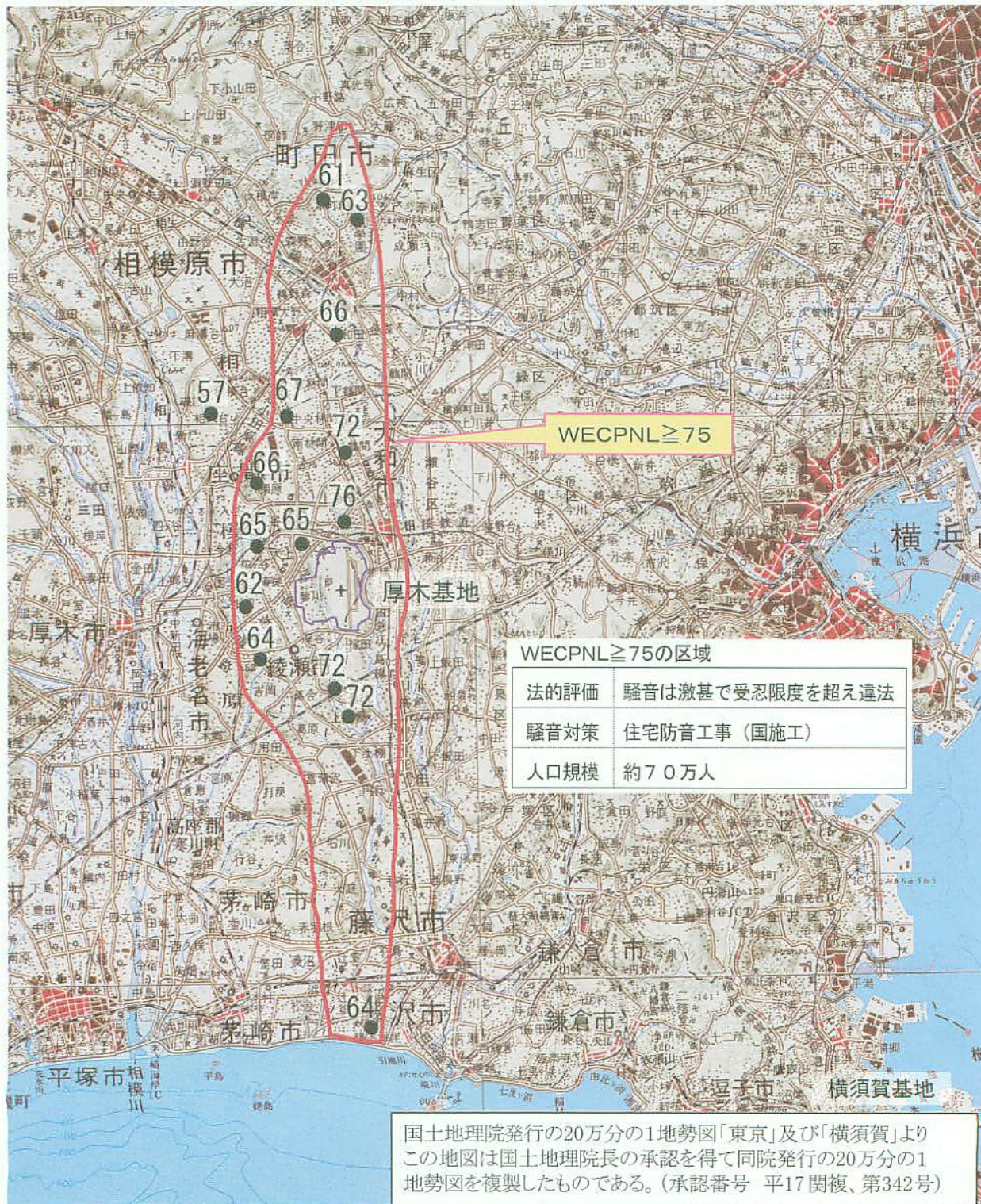
平成17年3月から10月の米空母キティホーク入港時



厚木基地とオセアナ海軍基地の騒音比較

厚木基地周辺

- ・ 地図上に示した数値は、本協議会において参考値として算出した空母入港期間中(平成17年3月28日から5月23日)のLdnの値。
- ・ ●は、今回Ldnを算出した騒音計の位置(15か所)。
- ・ 赤線は、国が平成15、16年度に実施した騒音調査に基づくWECPNL75のコンターライン。



オセアナ海軍基地周辺

- ・ 海軍オセアナ航空基地(アメリカ合衆国ヴァージニア州)は、米海軍最大の航空基地。
- ・ FCLP(NLP)を実施しており、かつ人口密集した都市部に隣接した航空基地として代表的なもの。



注1 いずれも約1/200,000の同縮尺

注2 Ldnは、WECPNLとは異なる騒音尺度で、夜間(22時~7時)の騒音に対して単純に10dB大きく評価したもの